



## 老健つて?

コスモス苑は「利用者様の尊厳を守り、向上心を以て明るく家庭的な施設を目指す」を理念に、平成九年四月に老人保健施設(老健)として開設されました。(介護保険の施行により介護老人保健施設となる)利用者様に対し、リハビリや日常的な看護・介護を行うことによって、心身諸機能の改善や日常生活行動の向上を図り、ご家族に復帰させることを目的にしています。病院を退院された方、ご家庭での生活が不自由になられた方が対象となり、介護保険制度で要介護認定を受けられた方にご利用いただけます。

似たような施設に特別養護老人ホーム(特養)がありますが、特養と老健はどこが違うのかといふと老健は終の棲家にはなりえないということです。入所の前提がご家庭に戻つていただくことになります。老健が登場し始めた頃は中間施設と呼ばれていました。しかし、いつの間にか多くの施設が終の棲家化していく、次第に特養と老健の区別がつかなくなつていきました。過疎化が進む田舎では、ご高齢の方の一人暮らしはなかなか厳しいものがあり、そんななかで多くの老健は特養化せざるを得なかつたとも言えます。ところが、やはり老健は利用者

様をご家庭に復帰させる施設であるべきである、との考え方が平成二十四年の介護報酬改定で国から示されました。十人を十人ご家庭に戻すことは難しくても、ある一定の割合で家庭に戻すべきであるとされたのです。コスモス苑でも十人に三人、四人はご家庭に戻つていただいています。だからといって、いつたん退所したら二度と入所できないということではありません。施設とご家庭を行つたり来たりでいいかと思います。ご自宅へ戻られても多様な介護サービスがありますので、居宅のケアマネさんに相談されてご自身に合ったケアプランを作成してもらえばいいと思います。

そして、これから先の話ですが、地域包括ケアシステムという言葉を最近よく耳にします。介護が必要になつた高齢者が住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるように、医療・介護・行政・住民らが連携して高齢者を支えて行こう、という支援体制のことを行つた。しかしながら、このまま構築していくなければならないそうです。老健もその一羽を担う事が期待されています。これからも私ども介護老人保健施設コスモス苑は、地域の皆さん方に親しまれ、頼りにされる存在であり続けたいと願っています。

**事務次長 近川 浩昭**

## 1年間の行事を振り返って

春



4月外出レクリエーションを行いました。鹿屋のリナシティと垂水道の駅に行きました。皆さんお買い物を楽しまれていらっしゃいました。

夏



今年の夏祭りは、インフルエンザ流行の為、苑内夏祭りになってしましました。今年初めて職員での手作り籠を皆さんに抽選という形で提供でき、大変喜ばれておられました。

秋



11月に誕生日の御利用者様と一緒に千本イチョウを見に行きました。葉が黄葉していましたが辺り一面の緑が見られて、楽しんでいました。

冬



12月にクリスマス会を行い、サンタさんやトナカイさん等にぎやかなイベントが出来ました。普段の職員とは違った一面も見られてとても楽しそうでした。

今年一年どんな行事があるか楽しみですね(\*^。^\*)

# ふれあい書道展入賞おめでとうございます

平成 25 年 8 月 10 日 「筆の都」広島県熊野町 全国書画展覧会

上田 ヒデ 様

八木キヨ子 様



久し振りに大筆を持ち行書を書きました。まだ不十分ですが、こんな立派な賞をいただき感謝の念でいっぱいです。



つたない字で恥ずかしい限りです。このような賞を頂いてビックリしています。

## 通所リハビリテーション 利用者様 作品

重信 明美 様



先生のおかげで立派なのれんが出来ました。ありがとうございました。

## ちゃんちゃんこを 寄付していただきました!

篠原 直一 様



### 【ご家族様より】

父も 99 歳になって、元気にコスモス苑に通えることができているのも、皆様のおかげだと感謝しております。

今回、皆様への感謝の気持ちと父の長寿の祝いの記念といたしまして、ちゃんちゃんこを寄贈させて頂きました。今後とも、よろしくお願いします。

## 各委員会より

### 排泄委員会

今回は、排泄の勉強会内容をお話ししたいと思います。排泄委員会の勉強会として、職員向けとご家族様向けの 2 つの勉強会を開催させて頂いています。職員向けは、業者の方に講義をして頂き、オムツの構造や機能の勉強会や普段の業務の中で困っているオムツの当て方等の事例をあげてグループで話し合い方法を考える勉強会などがあります。事例の勉強会では、普段業務中は、聞けなかった事を職員同士で話し合うことができ、尿取り使用の統一が、出来る様になってきました。又、職員間でも「こうしたらしいんだ」等の声も聞くことができました。ご家族様向けの勉強会では、平成 24 年度より開催しています。ご家族で、困っているオムツ交換を少しでも楽にして頂きたく開催しました。

普段、困っている事を聞く機会がなく、勉強会を開催したことでの家族様の困っている事等聞くことができました。又、ご家族様からも「勉強になりました」との声も聞くことができ、「よかったです」と感じています。来年度も勉強会を開催してご家族様の負担の軽減が出来る様にしていきたいです。長くなりましたが、以上で排泄委員会の勉強会・活動内容の報告を終わりたいと思います。これからも、排泄委員会の勉強会の参加をお待ちしております。

### 褥瘡委員会

褥瘡（床ずれ）とは、皮膚の一部が死んでしまった状態の事をいいます。発生の原因は局所の圧迫や床ずれなど様々ですが、寝たきりや座りっぱなしなど同じ姿勢で長くいるとできやすく、仙骨部や大転子部、踵などによく見られます。褥瘡はその人の生活の質を左右するものであり、発生を防ぐ対策がとても重要です。

当委員会は、医師・看護師・介護福祉士・作業療法士・管理栄養士の多職種で構成されています。委員会のメンバーはもちろんのこと、理学療法士や社会福祉士、ケアマネージャー等とも連携を図り、苑全体で予防対策や治療に取り組んでいます。また、日常業務のなかでは体位変換や皮膚の清潔保持、姿勢の修正や圧の分散、車椅子の選定や体圧分散用具の使用などその方に応じた対策を講じつつ、年に数回勉強会も実施し全スタッフが褥瘡に関する知識や技術を習得できるよう努めています。

今後も褥瘡発生率 0 %を目指しながら、コスモス苑利用者様にとってよりよい生活とサービスを提供できるよう努めて参ります。

### 教育委員会

平成 25 年度の教育委員会は、ナラティブについて経験年数ごとに分かれ 3 回勉強会を行ないました。ナラティブの勉強会を開催するに至った経緯としまして、言葉遣いやケア等が利用者にとって充分満足のいくものになっているか疑問に思ったところにあります。

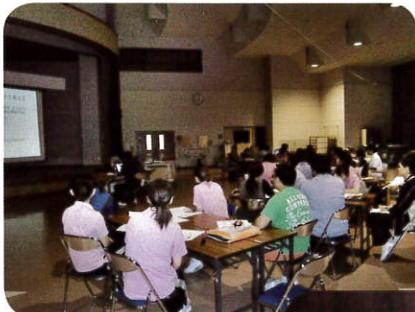
今回の目的は

- ①自分自身や日々の介護の仕事について振り返る事。
- ②自らの経験を流さず注意深く洞察する習慣を身につけること。
- ③他人の経験から学ぶ姿勢を身につけることなどでした。

勉強会を通して、自分自身を見つめ直す事が出来た、今回この経験を生かしていきたい、介護という仕事に誇りを持ちたいなど前向きな回答が多く聞かれました。来年度も心に残る勉強会を開催できるようにしたいです。

## リスクマネジメント委員会

リスクマネジメント委員会では、安全な介護サービスを提供するために様々な勉強会を実施しています。安全な介護サービスを提供するためには、職員の知識やスキルの向上が必要不可欠です。利用者様が安心してコスモス苑生活が送れるように、今後も定期的な勉強会を開催していきます。



## 資格取得おめでとうございます。

### 認知症ケア専門士

介護副士長：柳田 誠

長寿国家、高齢化社会といわれる現在、認知症を有する方も増えてきました。私は認知症について興味があり、平成 24 年に「認知症ケア専門士」という資格を取得しました。「専門士」とはいうものの、私自身まだまだ未熟で、覚えなければならない事も多いのが現状です。しかし、施設や自宅で生活されている認知症を有する高齢者の方が安心して生活できる環境作りや、自宅で介護する御家族の心身負担の軽減につながるような支援やアドバイスができればと考えています。今後も資格の名に恥じないよう、日々努力していきたいと思います。



### リスクマネージャー

介護副主任：久保 直人

平成 23 年、9 月 1 日にリスクマネージャーを取得しました。

当苑におけるリスクマネージャーの役割は、施設内におけるリスクを想定し、事故（転倒・転落・利用者様のプライバシー保護・自然災害など）を包括的に把握し事故対応だけでなく事前リスクも視野に入れて現場の中心となってリスクマネジメントを行う事です。リスクマネージャーを取得して 2 年が経過しました。まだまだ勉強不足で至らない点もありますが、日々、利用者様が安心して過ごして頂ける環境作りに努めています。今後も他スタッフと連携してリスク予防に努めていきたいと思います。



# 今年もカンパチを 頂きました!!



桜島が冠雪した日。垂水市漁協様よりカンパチ「桜勘（おうかん）」が届けられました。毎年のご好意に心より感謝を申し上げます。厨房でさばき、利用者様には照り焼きを、職員にはお造りにして美味しさをかみしめながらいただきました。



今回発行のおやつとさあはいかがでしたでしょうか。今回は年間行事をまとめたページをメインとしました。利用者様に楽しみを持つて生活していただけるよう、スタッフ一同頑張っていきます。また、コスモス苑での委員会活動や勉強会の様子も今回掲載いたしました。

来年度は新聞委員会スタッフも新しくなります。一年間ありがとうございました。寒さもだいぶ和らいだ。季節の変わり目。体調を崩されぬようご自愛ください。

## 編集後記



新聞委員会リーダー

上園 千明